



# 御神矢神楽 特別祈願の ご案内

一年の節目 人生の節目 はじまりは射水神社から



## ごしん やかぐら 「御神矢神楽」

災難・災厄を祓い除ける力  
破邪顕正はしゃけんしやうの「白羽の矢」  
を手にした巫女が御神前で  
神楽を舞い、神様の御力  
御神威ごしんいをお授けします。

# 御神矢神楽 特別祈願について

一年の節目 人生の節目 感謝と祈りを込めて 霊験あらたかな御神前へ



令和7年、神様が神山・三上山より古城跡へとお遷りになられて、150年となります。  
特に現在、約50年ぶりとなる御本殿屋根の葺き替えが行われており、神さまには仮の御殿『御鳳輦』にお鎮まり  
いただいております。来春4月21日までの間は、神様のお側近くでお祈り出来る「特別参拝期間」です。



現在、仮殿となっている『御鳳輦』

## 受付

令和7年 元日

新年一番祈願 午前0時 斎行 [受付は午後11時~]

新年祈願 受付後、随時奉仕 午後5時まで

2日以降 午前9時 ~ 午後5時 [年中無休・毎日奉仕/時間外は、お電話でお問い合わせください]

大鳥居脇「参集殿大玄関」よりお入りいただき、受付で「申込用紙」にお名前・ご住所等をご記入の上、祈願初穂料・お供えを添えてお申し込みください。

## 祈願初穂料 全ての御祈願に御神威[お力]を頂く『御神矢』を授与いたします

### 個人

(1つのお願いごとにつき) 予約不要

祈願 6,000円 より志

大祈願 10,000円 より志

特別祈願 15,000円 より志

御神酒2升をお供えの方には、  
1升をお清め酒・お祝い酒  
としてお返しします。  
鏡餅をお供えされた場合も  
半分をお返しします。

### 会社・企業・団体

(職場安全・必勝祈願・社運隆昌等) 要予約

20,000円 より志

「御神酒2升」を添えてお供えください。

## 依頼祈願 遠方・自宅からのご祈願(お祓い)

ご祈願(お祓い)は、神社に参拝して直接お受けいただくのが本来ですが、  
遠方にお住まいの方、また諸般のご事情によって参拝が叶わない皆様には  
郵送でのご祈願のお申し込みを承っております。

御神前にて、ご祈願奉仕の上、  
おさがり[おふだ・お守り・御神矢・絵馬等]を  
お送りします。

(※おさがりは、小正月・左義長以降、発送します)

祈願初穂料  
6,000円 より志

お申込みはこちら▶



# 願意 —おねがいごと—



## 神恩感謝 開運福德

日々の生活を神様に感謝し、今後もお守りをいただき、平穩無事に暮らせるように祈ります。  
御祭神の「天孫降臨」神話に由来し、進む道を切り拓き、幸福を招きます。

## 家内安全 家門繁栄

ご家族全員のお名前を祝詞で読み上げ、一年間の平穩無事、心身健全、無病息災、子孫繁栄を祈ります。

## 五穀豊穰 商業繁栄

商売・営業をされている方はもとより、全ての産業、農林水産商工営業などの益々の繁栄を願います。

## 社運隆昌 営業繁盛

会社・店舗や現場での無事故と営業の機運を高め、さらなる飛躍と発展を誓い祈ります。

## 除災招福

災難災厄を祓い除け、幸福を招くため、神様の御力をいただけるよう祈ります。

## 学業成就 試験合格

日頃の学びの成果や、身に付けた実力を発揮出来るように決意を新たに、目標とする試験に合格できるよう祈ります。

## 必勝祈願

各種団体・組織・チームの目標をはっきりと定め、その達成に向けての努力を誓い、神様の御力をいただけるよう祈ります。

子授け 安産 初宮詣 七五三 心身健全 病氣平癒 良縁 交通安全 海上安全 大漁祈願 など

## 厄年祓 (厄除け)

古くから「節目の年齢」として、これまで無事に過ごしてきたことへの感謝と、今後の健康を願い、厄年期間中の災厄を避けられるようお祓いします。

厄年以外で、厄除けを希望される方は、「除災招福」のご祈願をお受けください。

## 身祝い (年祝い)

人生の節目にあたり、古くから目出度いとされる歳のお祝いです。神様への感謝と、さらなる健康長寿への願いを込めて、お祈りします。ご家族皆様で神様に感謝の気持ちをお伝えしましょう。

## 家族絆祈願

厄年祓・身祝いに際して、ご家族全員のお名前を祝詞で読み上げ、家内安全と無病息災をお祈りします。  
(上記の祈願料+3,000円から)

## 厄年祓

本厄	42歳 男 昭和59年生 子
	37歳 女 昭和64年生 巳
	33歳 女 平成5年生 酉
	25歳 男 平成13年生 巳
	19歳 女 平成19年生 亥

前厄	41歳 男 昭和60年生 丑
	32歳 女 平成6年生 戌
	24歳 男 平成14年生 午
18歳 女 平成20年生 子	

後厄	43歳 男 昭和58年生 亥
	34歳 女 平成4年生 申
	26歳 男 平成12年生 辰
	20歳 女 平成18年生 戌

## 厄明け御礼参り

右の後厄の翌年に厄年期間を無事に過ごせたことの御礼参り

## 身祝い (男女)

還暦 (かんれき)	61歳	昭和40年生	巳
古稀 (こき)	70歳	昭和31年生	申
喜寿 (きじゅ)	77歳	昭和24年生	丑
傘寿 (さんじゅ)	80歳	昭和21年生	戌
米寿 (べいじゅ)	88歳	昭和13年生	寅
卒寿 (そつじゅ)	90歳	昭和11年生	子
白寿 (はくじゅ)	99歳	昭和2年生	卯
上寿 (じょうじゅ)	100歳	大正15年生 昭和元年	寅

かぞえ年で記載しておりますが、満年齢でもお祓いできます。  
かぞえ年とは、生まれた年を「1歳」とし、お正月を迎えるたびに、神さまから新しい年をいただき、1つずつ年齢を重ねる数え方です。

# 初詣にお越しの皆さまへ 身心健やかに 清々しいお正月を

令和6年元日の能登半島地震より、間もなく一年を迎えます。『能登は、もともと同じ一つの国。絆を紡ぎ、心はひとつ』との思いから、復興に向け、引き続き、出来得る支援を行って参ります。令和7年の新年、こころ穏やかに、そして健やかなお正月をお迎えになり、清々しく初詣のお参りをいただけますよう、万全の準備でお待ちいたしております。ご家族お揃いでお参りください。



## 「2つの神殿」でお祓いを奉仕



「本殿」「祈願殿」の2箇所でお祓いを奉仕いたします。密集と共にお待ち時間が大幅に緩和されます。

心静かにお祈りいただけますよう距離を保ち、ゆったりとお座りいただきます。



## 祈りをかたちに



私達は神様のお力が宿ったお守りを身近に持つことで災厄災難から身を守ってきました。様々な「祈りや願い」を形にしたお守りを

を授与しています。自身に合うお守りや縁起物をお受けになられ、開運招福をお祈りください。



## 「お守り授与所」を増設



混雑を緩和しつつ、お守りや縁起物をゆったりとお選び、お受けいただけるよう『初詣授与所』を増設します。

破魔矢などの縁起物は、「節分」の2月3日頃まで毎日お受けいただけます。



## 招福えと「巳」



その年の干支は、私達の願い事を神様にお伝えし、御利益を届けてくれます。

巳は「実」となり、脱皮を繰り返すへびは不老長寿の縁起の良い干支です。家庭や会社にお飾りされ、健康と開運をお祈りください。



# 吉例 木遣り・纏振り 奉納

## 富山県若鷺会



1月2日(木) 午前9時45分

江戸木遣りが響く初春の古城の杜に、勇ましく纏が振られ、富山県下における新年の無病息災の祈りが込められます。



# 左義長 射水の火祭り

1月14日(火) 午後6時 [午後9時頃まで]

古式の火鑽具によって、忌火(清浄な火)を起こし、やぐらに点火、お正月飾りやお守り、書き初めなどを焼き上げます。御神火にあたると一年が無病息災と伝えられます。

当日は混雑が予想されますので、最新情報はHPをご確認ください。

### お受けできるもの

お神札・お守り・縁起物[破魔矢・熊手・ダルマなど]  
しめ飾り・書き初め など

- 神棚は、焼納初穂料として3,000円以上をお納めください。
- ご持参された古いお神札は、必ず神職・係員にお渡しく下さい。

### お受けできないもの

年賀はがき・仏具・写真・祝儀袋・鏡餅のプラスチックケース・人形など  
● めいぐるみなどは、毎年6月30日の「人形感謝清祓式」でお預かりしております。

### 天神様(掛け軸・井波彫刻・土人形)

1月25日~31日の期間にお納めください。

- 焼納初穂料として、一体につき3,000円以上をお納めください。

## 初詣交通規制 12月31日 午後11時~1月1日 午後7時

飲酒運転やめて、シートベルト着用の徹底  
すがすがしい初詣を



1. 警察官・交通整理員等の指示、及び案内標識に従ってください。
  2. 指定駐車場以外の場所は駐車禁止です。
  3. スノータイヤ・チェーンを忘れないでください。
  4. 降雪の量等によっては、規制を変更することもあります。
- 駐車場(終日満車)
  - 臨時駐車場(混雑)
  - 臨時駐車場(終日空車)
  - 車両通行禁止
  - 一方通行
  - 迂回路
  - 公衆便所
  - 臨時一方通行
  - 混雑予想路線
  - バス停
  - 車両進入禁止

◆北口・小竹藪駐車場は終日満車となりますので、迂回路より公園周辺の臨時駐車場(無料)をご利用ください。

★1月2日・3日にご祈願(お祓い)をご希望の方は、「駐春橋」正面からお入りになり、神社臨時駐車場へお車をお停めください。但し、台数に限りがございますので、満車時は周辺の駐車場をご利用ください。

## ご祈願の前に

### 問 初穂料とは？

答 初穂料は、祈願料のことで、のし袋（封筒でも可）の上部に「初穂料」や「玉串料」と書きます。御神酒をお供える場合は「奉献」「御神酒」と書かれたのし紙を巻きます。



(お酒)

### 問 予約は必要ですか？

答 ご予約は必要ございません。年中休みなく、毎日受付・奉仕を致しておりますので、ご予約日に直接神社へお越しください。お一人様はもちろん、ご家族様も一緒にお参りいただけます。（企業・団体でお参りされます場合は、社殿を貸し切ったの参拝となりますので、事前のご連絡をお願い致します）

### 問 ご祈願時の服装は？

答 神社にお参りする際の服装は基本的に自由ですが、ご祈願（お祓い）は、神様のいらっしゃる社殿に上り、御神前で日々の感謝を伝え、祈りや願いの成就に向けて自分自身も努力することをお誓いする大切な時間です。普段着でもお参りいただけますが、本来、男性はスーツにネクタイ、女性の場合もあらたまった服装でお参りします。年末年始の寒い季節は防寒着をご用意ください。マスクを着用したままのお参りも可能です。

### 問 御礼参りって？

答 古くから日本では、お願い事が成就した際や、一年間を無事に過ごせたことへの感謝として、神様に「お礼のお参り、『神恩感謝』」をする習慣があります。日々のご守護に感謝し、神様への成就奉告を行い、今後も清々しく健やかな心身で暮らせるようお参りします。なお、ご祈願の際に受けられたお神札やお守り、授与品がありましたら、この時にご返納ください。

## ご祈願の後に 神様のお力と、ご守護を最大限にいただくために

皆様のご祈願の旨を御神前に謹んでお祈り申し上げ、「お神札」・「御神矢」・「お守り」を授与いたします。射水の大神様は、古くより最も神威霊験ある「名神社」として、広く全国から尊崇され、また越中国一宮・郷土の大守護神として、越中・富山の国域、また富山県民の「ふるさとの守り神」として親しまれています。

『**祈禱神璽**』は「祈り、を込めた特別な**「お神札」**、『**御神矢**』は「お力、をいただく特別な**「破魔矢**」です。

「お神札」を紙袋よりお出しいただき、ご自宅や居室、会社・店舗・職場でお祀りされている「神棚」にて、「天照皇大神宮」（伊勢の神宮大麻）、「射水神社」（神符）と共に並べてお祀りください。神棚の「宮型」をまだ設けてない際には、居室の窓際や書棚、タンス、サイドボード等、清浄で明るい適宜な場所に、並べて立て掛けてお祀りいただいても結構です。災厄を祓う「御神矢」・開運招福「熊手」等の縁起物は神棚や玄関など、目立つところにお飾りします。



「神棚」に祈願のお下がりをお祀りする場合(一例)



「神棚がない」場合の祈願お下がりの祀り方(一例)



「神棚」をお持ちでない方へ「お神札立て」(初穂料 500 円)



**問** 初穂料によりお神札の大きさが違うとのことですが、  
大小によって御利益は異なるのですか？

**答** お神札の大きさにより、「御神威」（神様のお力）が異なることはありません。  
何よりも大切なことは、日々“おまつりをする心”です。  
神様への感謝、祈りの気持ちでお納めする初穂料はそれぞれ異なりますので、皆様のご奉賛のお気持ちに添うべく、お神札の大きさを変えております。  
神社からの距離が離れた家庭や会社からでも、毎日、神社を遙かに  
お参りするために「お神札」があります。また、常に身近にあって、  
身心をお守りいただくためにあるのが「お守り」です。  
お神札やお守りを通して、朝夕に神様へ感謝・祈りの気持ちをお伝えし、  
神様を身近にお参りすることで、お力とご守護をいただくことが出来ます。



左から祈願・大祈願・特別祈願のお神札

『お守り』は、普段より、身につけてお持ちください。

『絵馬』は、ご自身の「願い事」と「誓い事」の両方を謹書し、  
神棚・「お神札」の前にお掛け・置いてください。

願い事と共に、誓い・頑張る事・取り組む決意・目標等、両方を書かれることが、御神威をさらにいただくための切っ掛けとなり、  
日々の生活の指標ともなります。  
後日、射水神社にお参りの際、境内の「絵馬掛け所」にお納め  
ください。



御神矢「干支木札」の裏面に「願意」「お名前」「祈願日」をご自身でお書き入れいただくことで、目標や進むべき道が定まります。



『絵馬』には、願い・目標とともに、ご自身の決意や誓いを書き添えますと、より一層、気力が湧き上がります。



『撤饌』がある場合は残さずいただき、神様のお力を“自身の力”に加えます。

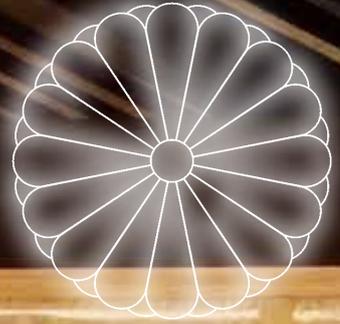
『撤饌』とは、`お供え物のお下がり、`という意味です。

お渡しする御品（神酒・昆布・御塩等）は願意により異なります。これらは実際に食することで神様からのお力をいただく「直会」として大変重要な儀式です。神棚・「お神札」にお供えされた後、「いただきます」の心でお召し上がりください。

ご祈願の成就・達成の折、または一年間を目処として、年末には感謝の祈りを込めて、毎年1月14日斎行の「左義長(射水の火祭り)」で、おふだ・お守りをお納めください。  
初詣で新たなお神札・御神矢・お守りをお受けになり、さらなる`御神威(神様のお力)`をいただきます。

ご不明な点は お電話にて お問い合わせください (0766)22-3104

[個人祈願での予約はいりません。団体のみ予約]



令和七年乙巳

神近き  
大御前へ  
初詣

御本殿屋根の葺き替えに伴う遷座祭が  
令和6年9月15日の夕刻に行われ、  
神様が仮の御殿である『御鳳輦』へと  
お遷りになりました。  
令和7年の新年は、神様のお側近くで  
お参りの出来る〝特別参拝期間〟です。

越中総鎮守一宮 射水神社